

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

263

安全・安心農業推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	4	農業と環境の共生

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農業費		
	目	農業振興費		
	大事業	農業振興事業		
	中事業	安全・安心農業推進事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	農林水産課	佐々木 茂彰 435-1049
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	消費者への安全・安心な農産物の供給及び農業を通じて自然や環境への理解を深める。		安全・安心な食品の供給の指導及び啓発、農業体験の機会の創出、農業の担い手育成のための講習会の開催などを行う事業者に対して、助成を行う。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		環境に配慮した安全・安心な農作物や学童農園等の実施などの奨励。@・農業振興補助金@・特定農産物振興補助金@・農業共済加入促進事業補助金(果樹共済加入促進)	環境に配慮した安全・安心な農作物や学童農園等の実施などの奨励。	学童農園等に農業体験を行う事業者に対して補助金を交付する。	学童農園等に農業体験を行う事業者に対して補助金を交付する。	学童農園等に農業体験を行う事業者に対して補助金を交付する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	2,184	1,347	2,184	1,397	460	460	400	0	400	0	
伸び率(%)	△18.9%	△50.8%	0%	3.7%	△78.9%	△67.1%	△13%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	2,067	4,213	2,074	3,350	3,357	960	1,119	0	1,119	0
	正規職員以外	134	0	125	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,201	4,213	2,199	3,350	3,357	960	1,119	0	1,119	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	2,184	1,347	2,184	1,397	460	460	400	0	400	0	
所要人数(人)	正規職員	0.26	0.53	0.26	0.42	0.42	0.12	0.14	0.00	0.14	0.00
	正規職員以外	0.05	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	農業振興補助金 460千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
事業分野の数		回	2	2	2	3	3
			2	2	2		
			100%	100%	100%	0%	%
学童農園等実施箇所数(小学校・保育所・幼稚園他)		箇所	40	40	40	40	40
			46	51	51		
			115%	127.5%	127.5%	0%	%
			目標値				
			実績値				
			達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○ できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	農業振興に係る啓発や地産地消への取組は、農業の持続性を確保するためには、非常に重要である。
見直し・改善内容	実施事業者に対し、事業分野の拡大を図るよう促す。